

SHANNON LLC | ANALYTICS AUDIT

アクセス解析・計測監査

サービス資料

その数字、本当に合っていますか。GA4や広告のコンバージョン計測を、配信されるコード・サーバー側まで踏み込んで診断し、意思決定に使える数字へ立て直します。



計測は、気づかないうちに壊れています

GA4や広告のコンバージョン計測は、設定変更やサイト改修をきっかけに、気づかないうちに壊れていきます。よくある症状がこちらです。



CV数が実際と合わない

GA4上のコンバージョン数が、実際の申込・受注の件数と一致しない。どちらが正しいのか分からず、数字を信じきれない。



別サイトのデータが混入

別ドメインや別サービスのアクセスが同じ計測に流れ込み、自社サイトの数字に無関係なデータが混ざってしまっている。



1件が2～3件に水増し

タグが二重・三重に発火し、1件の申込が2～3件としてカウントされる。成果が実態より多く見え、判断を誤らせている。



URLに個人情報が記録

メールアドレスや氏名がURLパラメータに乗り、そのままGA4へ記録されている。プライバシー上の重大なリスクになりうる。



広告費の成果が不明

投じた広告費が本当に申込や売上につながっているのか、計測が正しくないため判断できず、予算配分の根拠を持てない。



数字が毎回ぶれる

ツールごと・レポートごとに数字が食い違い、見るたびに値が変わる。どれを信じてよいかわからず、報告のたびに迷う。

※ CV＝コンバージョン（申込・購入・問い合わせなど、成果とみなす行動）。GA4＝Googleアナリティクス4。

実際の申込・売上とGA4の数字が合わないまま、その数字をもとに**広告予算や施策の意思決定を続けていない**でしょうか。まず現状を正しく把握することから始めます。

壊れていても、それらしい数字は出ます

計測が壊れていてもエラーは出ず、グラフには「それらしい数字」が並びます。だから社内の誰も、異常に気づけません。

レポート上は、問題なく見える

計測が壊れていても、レポートの見た目は普段どおりです。だから、社内の誰も違和感を持ちません。

- ・ グラフは途切れず、前年比や推移もきちんと算出される
- ・ コンバージョンは毎日カウントされ、数字は増えていく
- ・ 一見すると、どこにも異常な点は見当たらない
- ・ エラー通知も出ないため、計測を疑う理由がない
- ・ 数字が出ているので、正しく測れていると思い込む

※ 「数字が出ている＝正しく測れている」とは限りません。壊れていても、それらしい数字は出続けます。

しかし、その裏で起きていること

同じ画面の裏側では、静かに誤りが積み重なっています。表の数字だけを見ては気づけません。

- × 別サイトのコンバージョンが、二重・三重に加算される
- × 申込に至らない操作まで、CVとして誤ってカウント
- × 個人情報がURLに含まれ、そのまま記録され続ける
- × 広告の成果が、実態とずれた値のまま評価される
- × 誤った数字が、日々の意思決定にそのまま使われる

※ 表に出る数字と実態が乖離したまま、その数字が判断材料として使われ続けます。

誤った数字と気づかないまま意思決定を続けると、**広告予算の配分も、改善の打ち手も、すべて誤った前提の上に積み上がってしまいます。**

※ 監査では、表の数字と実態の乖離がどこで起きているかを一つずつ特定し、影響の大きい順に可視化してお渡しします。

計測を立て直す、4つの柱

「今どうなっているか」の診断から、計測の再設計、プライバシー対応、可視化まで。4つの柱で一気に通貫にご支援します。

①

計測監査（現状診断）

DIAGNOSIS

今の計測がどうなっているかを、設定と配信コードの両面から点検します。問題点・影響度・優先度を診断レポートにまとめ、まず現状を正しく把握します。

- ・ 設定・配信コードの点検
- ・ 問題点と影響度の可視化
- ・ 改修の優先順位づけ

まずは現状を知りたい、というご相談に

②

計測の再設計

RE-DESIGN

広告ブロックや仕様変更により左右されやすいブラウザ計測から、壊れにくいサーバー側計測へ切り替えます。コンバージョンの定義も、実態に合わせて作り直します。

- ・ サーバー側計測への切替
- ・ コンバージョンの再定義
- ・ 広告連携の計測精度向上

直しても壊れる、を根本から解消したいとき

③

プライバシー対応

PRIVACY

URLやイベントに個人情報が混入していないかを点検し、秘匿・除去の設定を行います。計測の精度とプライバシー保護を、両立させた状態に整えます。

- ・ URL・イベントのPII点検
- ・ 個人情報の秘匿・除去設定
- ・ 再発防止を含めた設計

個人情報の扱いに不安があるとき

④

レポート整備・可視化

REPORTING

直した計測をもとに、意思決定にそのまま使えるレポートへ整えます。見るべき数字が判断に直結する形で一目で見える状態にして、運用まで引き渡します。

- ・ 指標・ダッシュボード整備
- ・ Looker Studioで可視化
- ・ 運用方法の引き渡し

数字を判断に使える形で見たいとき

※ PII＝個人を特定できる情報。②③④は監査の結果を踏まえ、必要な範囲から優先度順に進めます。

監査でチェックする主な項目

現状の計測を、表側の設定だけでなく、配信されるコードやサーバー側の処理まで含めて一つずつ点検します。



タグの二重発火

同じコンバージョンが複数回記録されていないか。計測タグが重複して読み込まれ、成果が水増しされていないかを確認します。



クロスドメイン混入

別ドメイン・別サービスのアクセスが自社の計測に混入していないか。ドメインをまたぐ計測が正しく分離されているか点検します。



コンバージョンの取りこぼし

本来カウントすべき申込・購入が記録されていないか。逆に、成果でない操作をCVとして数えていないかを両面から検証します。



個人情報（PII）の混入

URLパラメータやイベントに、氏名・メールアドレスなどの個人情報が記録されていないかを点検し、秘匿・除去の可否を判断します。



計測タグの統合ミス

タグマネージャと直接埋め込みが競合していないか。複数の計測ツールが互いに干渉し、値を崩していないかを確認します。



イベント設計と流入元の帰属

イベントが一貫した設計で計測されているか。どの広告・流入元が成果に結びついたかの帰属が正しく取れているかを点検します。

※ 上記は主なチェック観点です。実際にはサイト構成・広告運用・計測ツールの構成に合わせて項目を調整します。

監査の結果は、「どこが・なぜ壊れ・直すと何が変わるか」まで踏み込んで診断レポートにまとめ、改修の優先度とあわせてお渡しします。

なぜ、開発会社が計測を診るのか

計測の不具合の多くは、配信されるコードやサーバー側の処理にあります。だからこそ、開発会社が診る意味があります。



コードまで踏み込める

タグの表側の設定だけでなく、実際に配信されるコードやネットワーク通信まで見て、不具合の本当の原因を特定します。



サーバー側計測に対応

Measurement Protocolやサーバー側タグを用い、ブラウザに依存しない、壊れにくい計測へ自ら設計・実装できます。



自社SaaSで計測を運用

規程ログなど自社プロダクトで、計測を自ら設計・運用してきた実績があります。運用する側の視点から診断します。



ツールを横断し一気通貫

GA4・GTM・Google広告・Search Console・Measurement Protocolまで横断し、原因特定から改修まで一気通貫で対応します。



壊れない設計まで行う

その場しのぎで直すのではなく、なぜ壊れたかを突き止め、同じ不具合が再発しない計測の設計・実装まで踏み込みます。



意思決定者に伝わる形で

技術的な問題を専門用語のまま渡しません。何が起きていて、直すと何が変わるかを、経営や現場に伝わる言葉で報告します。

「設定を直す」だけでは終わりません。なぜ壊れたか・どう作れば壊れないかまで、開発の視点で計測そのものを立て直します。

※ GA4=Googleアナリティクス4、GTM=Googleタグマネージャー、PII=個人を特定できる情報。Measurement Protocol=サーバーから計測データを直接送る仕組み。

進め方：4ステップで進めます

閲覧権限のお預かりから、監査・改修・引き渡しまで。多くは数週間で一巡し、優先度の高い箇所から確実に直します。

01



ヒアリング・権限共有

計測の悩みや現状を伺い、GA4などの閲覧権限をお預かりします。閲覧権限だけで診断を始められます。

02



監査・診断

設定と配信コード・サーバー側までを点検し、問題点・影響度・優先度を診断レポートにまとめます。

03



改修（優先度順）

影響の大きい箇所から、サーバー側計測への切替やPII対策などを、優先度順に実施していきます。

04



検証・引き渡し

改修後の計測を検証して正しく測れる状態を確認し、運用方法をドキュメントで引き渡します。

権限共有 → 監査・診断レポート → 優先度順に改修 → 検証・引き渡し（多くは数週間で一巡）

監査（現状診断）だけのご依頼も可能です。まずは現状を可視化し、改修の要否や優先度は診断結果を見てからご判断いただけます。

※ 閲覧権限で診断できます。改修時に必要な編集権限は、対象範囲を限定してお預かりします。金額は要件確定後に書面でご提示します。

成果物イメージ

監査から改修・引き渡しまで、次の意思決定にそのまま使える形で、3つの成果物としてお渡しします。



診断レポート

REPORT

どこが・なぜ壊れ・直すと何が変わるかを明記します。専門用語をかみ砕き、非エンジニアの意思決定者にも読める粒度で、改修の優先度まで示します。

- ・問題点の一覧と原因
- ・ビジネスへの影響度
- ・改修の優先順位づけ

何が問題かを、経営にも共有できる



改修後の検証

VALIDATION

改修の前後で計測を比較し、正しくコンバージョンが記録される状態になったことを確認します。直ったことを、感覚ではなく数字の証拠として提示します。

- ・改修前後の計測比較
- ・CVが正しく記録される確認
- ・残課題の整理と共有

直った証拠を数字で確認できる



運用の引き渡し

HANDOVER

今後の計測の運用方法や注意点をドキュメント化します。社内で計測を維持・更新できる形に整え、レポートの見方まで共有して引き渡します。

- ・運用手順のドキュメント
- ・再発防止のポイント
- ・レポートの見方の共有

引き渡し後も社内で維持できる

数字を直すだけでなく、**その数字を信じて意思決定できる状態**までをゴールに、レポート・検証・運用の3点をセットでお渡しします。

会社概要

社名	シャノン合同会社（SHANNON LIMITED LIABILITY COMPANY）
代表者	三浦 昌大（Masahiro Miura）
設立	2026年4月 （決算月：3月）
拠点	東京都豊島区池袋2丁目17-8 ／ 千葉県柏市若柴178-4 ／ 北海道札幌市中央区北二条東3丁目2番2号マルタビル8階
資本金／取引銀行	9,900,000円 ／ 三菱UFJ銀行柏支店
事業内容	プロダクト開発・運営 ／ インフラ構築・運用 ／ エンジニアリングエージェンシー
パートナー	Xserverビジネスパートナー ／ Microsoft Cloud Partner Program
連絡先	050-1794-9651 ／ contact@shannon.co.jp ／ https://shannon.co.jp

3 拠点
東京・千葉・札幌

28 件
公開実績
2014年～現在

10 業種超
対応業種
金融・医療・小売・SaaSなど



お問い合わせは <https://shannon.co.jp/analytics-audit/> ／ 資料ダウンロードは <https://shannon.co.jp/downloads/> からどうぞ。

Copyright © 2026 SHANNON LLC. All rights reserved.

E.O.F

